

## 中流域ワーキングの報告

会議名	開催日時	場所	出席者
中流域ワーキング	平成28年2月 4 日(木) 14:00~16:00	やしろ国際学習塾 中会議室	46名

## 内容

- 1 東播磨・北播磨・丹波（加古流域圏）地域総合治水推進計画について
- 2 取組事例の紹介 別紙資料
- 3 地域総合治水推進計画フォローアップの進め方について
- 4 意見交換

## 第3回ワーキングでの主な意見

項目		会議	意見等	回答
河川・下水道対策	河川堆積土砂除去	中流WG	加西市内の万願寺川および下里川に接している地区では、河床に土砂が溜まって浅くなっており、大雨の度に田んぼの水が河川に排水できず、田んぼが冠水して困っている。なんとかして欲しい。	推進計画内でも、土砂撤去については河川の特長や整備の段階を考慮し、適切な維持管理を行うと記載している。土砂撤去については県も認識しており、全ての箇所土砂を取ることは難しいが、順次対応していきたいので、ご要望があればあげて頂きたい。
減災対策	危険情報開示手法	中流WG	県民が危険に対する自覚をもっていないと行動が伴わず、行政が作った計画をいかに県民に自覚してもらおうかが大事と思う。姫路河川国道事務所の発表にあった重要水防箇所の共同点検も住民に伝わってこない。土日でもいいから、住民と一緒に行ってはどうか。また、結果についても開示して欲しい。	ご指摘のとおり、広報の仕方は工夫しなくてはいけない。重要水防箇所についてはホームページで公開しているが、住民の方に伝わりやすい方法を検討しなくてはいけないと思う。こういった会議の場でも情報提供できればと思う。
モデル地区	西脇市黒田庄町福地地区	中流WG	福地川のJR橋梁について、JRとどのような調整を行ったのか。	軌道下の河道断面を改良することで線路も浸水しなくなるといった内容で協議を行い、軌道下を隣接工事として市が施工することで、JRの了解を得ることができた。
	多可町加美区多田川流域	中流WG	砂防ダムの施工について、どういう部署と話をして施工に至ったのか。	えん堤には砂防事業と治山事業があるが、砂防事業は人家の手前で流れてきた土石流をくい止めることを目的とし、治山事業は山の崩壊を止めることが目的である。どちらの事業が住民の方のために良いかは人家の密集具合や溪流の状態によるため、えん堤を施工して欲しいという場合は、まずは、地元市町に相談してもらい、それから県が立会を行っている。